

令和6年度 事業報告書
(2024年度)

学校法人 箕面学園

I. 学園概要

1. 設立目的

天賦の才能を十分に伸長させるとともに、男女それぞれの特性を生かし、品性の高い教養ある人間を育成する。穏健な思想、円満な良、国家社会のよりよき一員をたらしめる。

2. 学園沿革

昭和21年	3月	財団法人箕面高等女学校設置認可 開校
昭和23年	4月	学制改革により箕面学園中学校、高等学校を開設 現在地に新校舎を竣工、移転
昭和24年	4月	箕面学園附属幼稚園を開設
昭和26年	3月	学校法人箕面学園に組織変更
昭和28年	4月	大阪学芸大学(現・大阪教育大学)の指導により 箕面学園幼稚園教員養成所開設(後・箕面学園福祉保育専門学校)
昭和31年	4月	箕面学園幼稚園教員養成所を同保育専門学校に改称
昭和38年	4月	鉄筋コンクリート造3階建南館、増築
昭和39年	3月	鉄筋コンクリート造4階建本館、増築
昭和40年	1月	体育館兼講堂等鉄筋コンクリート造地上3階地下1階
昭和50年	12月	保育専門学校 新校舎竣工
昭和51年	4月	附属幼稚園 新園舎竣工
昭和58年	3月	図書館(以文館) 新築竣工
昭和61年	3月	創立40周年記念 光風館新築竣工
平成4年	2月	高校セミナーハウス(湖西学舎)新築竣工
平成6年	6月	茨木グランド(茨木市泉原)竣工
平成9年	10月	創立50周年記念式典挙行
平成10年	4月	池田キャンパス開設(作業療法学科新設)
平成26年	10月	北館、南館、保育専門学校、幼稚園 耐震補強工事竣工
平成27年	10月	本館耐震補強工事及びトイレ等改修工事竣工
平成27年	11月	創立70周年式典並びに祝賀会を挙行
平成28年	8月	高等学校食堂リニューアル改修工事竣工
平成29年	8月	グランド人工芝化竣工
平成30年	10月	高等学校クラブハウス竣工
	10月	幼稚園増築棟、既存保育室リニューアル工事竣工
平成31年	4月	幼稚園型認定こども園箕面学園附属幼稚園 認可
令和元年	9月	東館一部改修(支援教室)
令和2年	10月	北館体育館改修工事竣工、空調新設
令和5年	8月	北館2階特別教室を改修
令和6年	8月	北館1階特別教室を改修
令和7年	3月	福祉保育専門学校 介護科福祉科 閉科

3. 役員の概要（令和6年3月31日現在）

理事 7名 監事 2名 評議員 15名

4. 法人設置校及び施設

「箕面学園高等学校」 普通科総合選択制 箕面市箕面7丁目7-31

「箕面学園福祉保育専門学校」 保育科、介護福祉科、作業療法学科

箕面キャンパス 箕面市箕面7丁目7-31

池田キャンパス 池田市八王寺1丁目1-25

「幼稚園型認定こども園箕面学園附属幼稚園」

3年保育 箕面市箕面7丁目7-31

「箕面学園第二グラウンド」 茨木市泉原39-1

「箕面学園湖西学舎」（売却中） 滋賀県大津市和邇中357

5. 経費

（1）支払報酬手数料等、学園で合算できる経費について見直しを行ってきたが、
今後もより一層見直しを図り経費削減に努めていきたい。

（2）購入物品等は稟議書にて諮る事で経費の削減に努めた。

6. 施設整備事業

（1）高等学校北館1階、特別教室フロアの全面改修を行った。

（2）北館3階部分 外壁塗替工事

（3）以文館（図書館）横、植栽、植樹実施

7. 学校評価への取り組み

幼稚園、高等学校で、PDCAに基づき学校評価、学校関係者評価を実施し
公開する。

8. 法人業務の取組

令和6年度は、理事会を3回、評議員会を3回開催し、学園の情報共有や様々な課題について議論を行った。

また、私立学校法改正に伴い学校法人箕面学園の寄附行為の改訂を行った。

Ⅱ．箕面学園高等学校

1．令和6年度 募集人員

210名 普通科総合選択制

2．令和6年度在籍数（令和6年5月1日現在）

1年 202名

2年 162名

3年 186名

合計 550名 （男子467名、女子83名）

3．生徒募集

（1）渉外担当者による渉外活動（広報活動）を強化し、高等学校管理職とのミーティングを毎月実施し情報共有に努めた。

（2）従来のオープンキャンパス、入試説明会に加えて学校説明・相談会を実施した。

（3）入試を3回実施し、合計111名の入学者を確保した。

4．ICT化

（1）各施設のICT化推進もあり、生徒のタブレット端末を使用した授業が可能になり、各教科で工夫をこらした授業展開が見られるようになった。また、BLENDを導入し欠席連絡など教務も含めて活用するようになった。

（2）令和6年度生より生徒のタブレット端末をグーグルクロームからウィンドウズタブレットに変更した。

5．環境整備

（1）第2期北館1階特別教室等の全面改修及び北館3階部分外壁塗替工事、以文館（図書館）横、植栽、植樹の実施。

（2）危険箇所の点検、整備を行った。

6．教職員研修

人権研修、ハラスメント研修、教職員の意識改革研修等を実施し、教職員間での情報共有を行い、教職員の意識、教育の質の向上に努めた。また、個々の教員研修の案内を共有し、参加を勧めた。

7. 高大連携協定

大阪学院大学、短期大学

芦屋大学

大手前大学、短期大学、大阪産業大学、びわこ成蹊スポーツ大学

8. 生徒の各推移

(1) 転退学率推移

年 度	期 首	離脱数	期 末	離脱率
R 4	5 6 3	3 1	5 3 2	5. 5 %
R 5	5 5 8	3 1	5 2 7	5. 6 %
R 6	5 5 0	3 9	5 1 1	7. 1 %

(2) 令和6年度 進路状況 182名卒業

① 大学・短期大学 合格者（抜粋）

京都産業大学	9名	甲南大学	1名
近畿大学	2名	桃山学院大学	3名
大阪電気通信大学	2名	追手門大学	7名
大阪産業大学	11名		

② 専門学校 40名が専門学校へ進学

大原法律公務員スポーツ専門学校	2名
大阪 ECO 動物海洋専門学校	4名
箕面学園福祉保育専門学校	3名
大阪調理製菓 ecoleUMEDA 専門学校	2名
ECC コンピューター専門学校	3名
大阪子ども専門学校	2名
東洋医療専門学校	2名

③ 斡旋就職（抜粋）

伊藤ハム、ダイハツメタル、日本郵政株式会社、山崎製パン株式会社、
東洋水産株式会社、いすゞ自動車近畿株式会社、株式会社きんでん

Ⅲ. 箕面学園福祉保育専門学校

1. 専門学校組織改編

専門学校の組織を中長期的に見直し検討を行った

2. 募集活動

- (1) 渉外担当者による近隣の高校訪問等を重点的に行い学生募集の充実を図った
- (2) 特別指定校を増やし、高等学校等との連携強化を図り入学者増へと繋げていった
- (3) 高等学校等における単独開催の学校説明会や校外説明会など積極的に参加し、専門に特化した内容や学校の知名度を上げた
- (4) 入試の回数を増やし学生の確保に努めた
- (5) 同一法人の対応の強化 同系専門学校との差別化を図る

3. 広報活動

- (1) 募集定員確保のため、計画的な取り組みを検討し、高校生の進学進路の決定が早くなるため、早期からの企画を実施した
- (2) 専門学校の特徴・学生の頑張りを広く内外に発信した
- (3) 学校組織の連携を密にし、情報の共有を図った（大専各連より、中学校への出前授業の依頼対応。箕面学園高等学校の学校案内も持参対応）
- (4) 近隣高校にて、学校独自の出前授業開催（進路指導部と連携）
- (5) HPやSNSを最大限活用
 - ①社会人向け案内ページの増加
 - ②学校行事などの写真を多く載せ、他校との差別化を図った
 - ③SNSを活用し情報を発信した
- (6) AO入試制度のシステム変更と継続
- (7) オープンキャンパスに加え、学校説明会・体験学習を開催した
体験学習には在校生も参加協力した

4. 継続する施策

- (1) 「清掃を中心とする環境整備」、「就学支援金」については、引き続き有効なものとして継続した
- (2) 学内奨学金の授与
卒業式で「学園長賞」、入学式で、在校生に「学園長賞」を授与した

5. 文部科学省中央教育審議会実施視察、および課程認定校の申請に対する準備

引き続き下記の項目について整備を行った

- (1) 全学的組織の確立と諸規定（カリキュラム委員会規程含む）の準備
- (2) 教育課程、履修方法およびシラバスの整備
- (3) 教育実習の実施計画、教育実習校の選択・連絡等
- (4) 施設・整備等の整備（図書の充実、教員研究室、就職支援室の整備）
- (5) 就職指導の徹底
 - 保育現場で活躍している卒業生を招いて対応した。
 - またキャリアコンサルタントを招いて対応した。
- (6) 指導大学（大阪教育大学）および教育委員会等との連携強化
- (7) 学校現場体験・学校支援ボランティア活動の強化（附属幼稚園との連携強化：例年の運動会に加え、食育活動・合同避難訓練等）

6. コロナ感染症等によりオンライン授業等の取り組みを行った

7. 作業療法士学校養成施設改善検討委員会

作業療法士学校養成施設改善検討委員会による養成施設における、総単位数、専任教員の要件、施設の備品等様々な見直しがあり、それらの対応を進めた

8. 諸規定並びに内規等の全面見直し、改訂、作成を実施した

入試特典の見直しを図る（入学金減免額の変更等（AO 入試等））

9. 大阪府委託訓練事業

令和6年度は、保育科が認定され12名が在籍となった

IV. 箕面学園附属幼稚園

1. 園児募集活動の展開

教育内容、活動の「見える化」を工夫して発信。プレ幼稚園・かるがもでーの取り組み内容の充実と発信に工夫を図った。また、在園児及び保護者の信頼と満足こそ最大のPRとの認識のもと保育・教育活動を展開した。

2. 研修の充実と実践的指導力の向上

オンラインによる研修と園外で行われる対面研修を組み合わせる研修参加の工夫を図った。教職員の資質こそ最大の教育環境との認識のもと、週案の交流や生活発表会を前に教育委員会と連携した公開保育と研究保育を実施した。

3. 安全・安心の確保

園舎全体及び園バス等に光触媒チタン抗菌を施工し感染症対策を強化している。従来の設備と毎月の避難訓練、日常の施設等の点検・保守を通じて、安全管理に努めた。

園バスの安全運行と事故防止、感染症対策に万全を期して、子ども達の安全、保護者の安心・信頼、園機能の確保に努めた。

4. 教育充実費にふさわしい開かれた幼稚園づくりと説明責任

園活動を充実させながら、園の考えも、ホームページや月1回の園便り、週1回のお知らせ、学級だより、日々の園長メール、写真瓦版等での発信に努めた。自己評価の情報公開も実施。また、高等学校、福祉保育専門学校、地域の小学校や関係機関との連携にも努めた。

5. 円滑な園運営と子育て支援

箕面市等行政機関との連携に努め、業務の円滑な遂行に努める。

また、新2号の希望する保護者に2号並み給食を提供し好評を得た。預かり保育や、週1回の子育て相談や「かるがもでー」、キンダーカウンセラー事業等と併せて子育て支援の充実にも努めた。

6. 教職員のワーク・ライフ・バランス対応

教職員の処遇改善とワーク・ライフ・バランスのとれた働き方改革に努めた。